

墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画

ワーキンググループのまとめ

第1ワーキング	見守り、配食、買い物など、多様な日常生活の支援の充実
検討課題	<p>(1) 地域における支え合いの促進</p> <p>(2) 生活支援サービスの提供</p> <p>(3) 尊厳のある暮らしの支援</p>
課題解決のための方向性	<p>高齢者の見守り等の生活支援が地域主体で推進されるよう、地域における支え合い活動の充実を支援する。</p> <p>介護保険サービスを除く、在宅高齢者を対象とした生活支援サービスについて、安定的に提供するとともに、変動する社会状況を踏まえて、適切な事業の在り方を検討する。</p> <p>高齢者が地域の中で尊厳を持ち、安心して暮らせるように、専門的・継続的な視点により、必要な支援を行う。また、関係機関と連携し、虐待の早期発見・防止、相談対応を行う。</p>
第8期に向けて実施・検討していく主な取組み(案)	
1	生活支援体制整備
2	みまもりネットワーク事業
3	小地域福祉活動
4	各種在宅高齢者向け給付サービス
5	高齢者の権利擁護
6	

第2ワーキング	介護予防の推進
検討課題	<p>(1)介護予防・重度化防止の推進</p> <p>(2)生きがいづくり、地域活動の場づくりの支援</p>
課題解決のための方向性	<p>「健康寿命の延伸を目指し、運動機能の低下防止だけでなく、低栄養防止、口腔ケアに取り組むことで、フレイル予防など高齢者の介護予防を推進</p>
	<p>高齢者の知識や経験等を活かせる、生きがいとなるよう就労、学習、趣味、交流活動などの参加を支援</p>
第8期に向けて実施・検討していく主な取組み(案)	
1	介護予防事業(保健と介護予防の一体実施、フレイル予防等)
2	各種検診等事業
3	生きがいづくり等の支援
4	

第3ワーキング	医療との連携強化、認知症ケアの推進
検討課題	<p>(1) 医療との連携強化</p> <p>医療・介護関係者の連携推進 区民への在宅療養相談支援・普及啓発</p>
	<p>(2) 認知症ケアの推進</p> <p>認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援 認知症予防</p>
課題解決のための方向性	<p>地域の医療・介護連携の実態を把握し、課題の抽出と対応策の検討を行い、関係者の情報共有支援、研修の開催等を通じた連携の推進を図る。</p>
	<p>在宅療養に関する相談の窓口を設置するとともに、区民が在宅療養への理解を深め、安心して在宅医療を選択できるように、人生会議や看取りの考え方も含め、各種の普及啓発事業を行う。</p>
	<p>国が示す認知症施策推進大綱に沿って、認知症の人や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進する。</p>
第8期に向けて実施・検討していく主な取組み(案)	
1	医療・介護関係者連携推進事業
2	在宅療養普及啓発
3	認知症サポーター養成講座
4	認知症サポーターステップアップ教室
5	
6	

第4ワーキング	介護サービスの質の向上(基盤整備)
検討課題	<p>(1) 第8期における介護保険施設等の施設整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別養護老人ホーム ・ 地域密着型サービス(居住系) ・ 地域密着型サービス(通所・訪問系) ・ 高齢者向け住まい(有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)の整備状況把握 <p>(2) 特別養護老人ホーム入所申込者の実態把握と分析</p>
課題解決のための方向性	<p>地域密着型サービスの整備 区民のニーズに対応できるよう認知症高齢者共同生活介護施設(グループホーム)及び認知症対応型デイサービスを整備していく。</p> <p>特別養護老人ホームの整備 令和2年3月時点で待機者が481名いる。第8期には、新規の特別養護老人ホームが1施設開設される予定であるが、これに加え、新規施設整備を行うか否かについては、介護人材不足の現状を踏まえつつ、検討する必要がある。</p>
第8期に向けて実施・検討していく主な取組み(案)	
1	特別養護老人ホームの整備
2	認知症高齢者グループホームの整備
3	認知症対応型デイサービスの整備
4	
5	
6	

第4ワーキング	介護サービスの質の向上(サービス向上)
検討課題	<p>(1)介護職員向けの研修会について</p> <p>(2)住宅改修等の点検について</p> <p>(3)ケアプラン点検について</p>
課題解決のための方向性	<p>介護職員向けの研修会について 事業者向けの研修について、将来的に実施していくことが望ましいため、検討に向けた体制を整えていく。</p> <p>住宅改修等の点検について 点検機能の強化、不適切な改修工事の抑止力の効果を図るため、リハビリテーション専門職等を配置することを検討していく。</p> <p>ケアプラン点検について ケアプラン検討会、訪問回数が多いケアプランの点検、実地指導時のケアプランの点検など複数の点検体制で行う。 ケアプラン検討会では、講師となる主任ケアマネジャーの後継育成等も考慮しながら参加者全体のスキルアップを目指す。</p>
第8期に向けて実施・検討していく主な取組み(案)	
1	給付適正化事業の強化
2	介護職員向けの研修会の実施
3	施設介護支援ボランティア・ポイント制度
4	介護保険等に関する情報提供
5	介護事業者向けの連絡会の開催
6	

第4ワーキング	介護サービスの質の向上(事業者支援)
検討課題	<p>(1)介護人材の確保・育成 ①介護のおしごと合同説明会 介護のおしごと就職面接会 介護入門的研修 ・参加者が少なく採用につながっていない。 ・就職先を「墨田区内」に限定できない。</p> <p>(2)サービス提供事業者への支援 ①外国人介護従事者日本語学習支援教室 ・現職の介護従事者は6割程度に留まっており、その就職先も約半数が区外事業者である。</p>
課題解決のための方向性	<p>介護人材の確保・育成 後期高齢者の増加に伴い増大する介護ニーズに的確に対応するため、サービスの担い手となる人材の確保、介護人材の資質の向上等の視点から各種施策を進める。</p>
	<p>サービス提供事業者への支援 質の高いサービスを安定的に供給するため、人材の就業支援だけでなく多様な事業者支援を充実し、介護人材確保及び資質の向上に向けた取組を進める。</p>
	<p>新規人材の確保(掘り起こし)施策はこれまでどおり講じつつ、8期では、並行して、人材の定着、離職防止という点にも重点を置き、事業を展開する。また、介護に対するイメージアップ施策も引き続き講じていく必要がある。</p>
第8期に向けて実施・検討していく主な取組み(案)	
1	介護職員初任者研修等助成制度
2	啓発冊子発行
3	永年勤続感謝状贈呈
4	介護職のための健康相談
5	社会福祉施設の人材確保支援 (障害者・高齢者事業所対象)
6	事業所指定申請等の提出方法の電子化
7	ICT機器の導入促進

第5ワーキング	住み続けられる住まいの整備
検討課題	<p>(1) 身体状況の変化に対応した住まい方の普及</p> <p>(2) 住宅施策と福祉施策の連携</p>
課題解決のための方向性	<p>高齢者自身が自立している段階で、自己の将来を見据え、ニーズに合った住まいの検討を行うことの必要性等を周知</p>
	<p>住宅部門と福祉部門との連携を強化し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し続ける施策を展開の必要性</p>
	<p>高齢者世帯などの民間賃貸住宅への円滑な入居を支援するネットワーク形成</p>
	<p>高齢者の身体・精神状況、経済状況に応じて利用できる介護保険施設を計画的に整備</p>
第8期に向けて実施・検討していく主な取組み(案)	
1	「すみだすまい安心ネットワーク」の構築
2	都市型軽費老人ホームの継続的な整備
3	認知症対応型共同生活介護や小規模多・看護小規模多機能型居宅介護の整備
4	住宅改修(バリアフリー化等)助成